



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 アネスト岩田株式会社

上場取引所 東

コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 飯田 紀之

TEL 045-271-5577

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,526	13.8	2,039	28.8	2,292	26.7	1,469	26.1
27年3月期第2四半期	12,759	—	1,584	—	1,809	—	1,165	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,436百万円 (3.6%) 27年3月期第2四半期 1,385百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	35.21	—
27年3月期第2四半期	27.73	—

注) 会計方針の変更に伴い遡及適用を行ったため、27年3月期第2四半期について、遡及適用後の数値を記載しております。また、27年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、遡及適用を行ったため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,744	25,732	70.5
27年3月期	33,766	24,689	69.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 24,512百万円 27年3月期 23,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.50	16.50
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	29,000	5.7	3,700	15.6	4,100	10.3	2,650	63.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

27年3月期の財務数値について遡及適用を行っているため、対前期増減率は遡及適用後の数値に基づいて算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	41,885,505 株	27年3月期	41,885,505 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	146,288 株	27年3月期	146,135 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	41,739,332 株	27年3月期2Q	42,029,370 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、海外では、中国経済の減速感が報じられる一方、米国・欧州はプラス成長を継続し、全体としては緩やかな回復となりました。国内では、機械受注や実質GDPが縮小に転じたものの、個人消費や設備投資は拡大傾向にあり、景気は緩やかな回復基調を維持しております。しかし、為替変動に伴う原材料価格の上昇や中国の経済成長減速観測など依然として不透明な状況が続いています。

このようななか、当社グループは、平成25年4月より3ヶ年の中期経営計画に基き、世界中のお客様のニーズを集め、市場毎の最適なマーケティング・開発・販売・生産・調達・経営管理体制を保有する「真のグローバル企業（経営のグローバル体制確立）」を目指してまいりました。中期経営計画最終年度の当第2四半期は、新製品開発におきましては、圧縮機製品ではブースタコンプレッサCLBSシリーズやオートドレンディスチャージャ（圧縮タンク内に溜まった油・水を排出する機器）ADDシリーズなどの新モデルを発売、真空機器製品では高効率モータを搭載したドライブスクロール真空ポンプGVS-500Eを開発、塗装機器製品ではkiwamiシリーズの自補修向け新形スプレーガンW-101Mや軽量・コンパクトな新形静電塗装スプレーガンEA-MS40を発売、塗装設備製品では高品位の塗装仕上がりでランニングコスト低減を実現した回転塗装ロボットシステム「SWAN」を発売しました。販売面におきましては、圧縮機の修理サービスを担当するアネスト岩田サービス株式会社をアネスト岩田コンプレッサ株式会社に改め、圧縮空気供給に関わる全ての商品・サービスをワンストップで提供し、お客様満足度の更なる向上を目指しました。また、塗装設備では、革新的な塗装方法を開発・供給することを目的に、タクボエンジニアリング株式会社と資本・業務提携いたしました。生産面におきましては、国内外の工場で無人化・省人化を推進し生産効率の向上を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高14,526百万円（前年同四半期連結累計期間対比13.8%増）、営業利益2,039百万円（同28.8%増）、経常利益2,292百万円（同26.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,469百万円（同26.1%増）の増収増益となりました。①セグメントの業績

セグメントの業績については、「3. 四半期連結財務諸表〔経理の状況〕-(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）に記載のため省略しております。

②製品別売上高は次のとおりです。

（単位：千円）

製品区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前年同四半期比増減	
	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日		平成27年4月1日～ 平成27年9月30日		増減額	増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		
圧縮機	5,934,647	46.5	6,741,784	46.4	807,136	13.6
真空機器	819,430	6.4	918,799	6.3	99,369	12.1
塗装機器	5,281,662	41.4	5,789,177	39.9	507,515	9.6
塗装設備	724,054	5.7	1,076,629	7.4	352,575	48.7
計	12,759,794	100.0	14,526,391	100.0	1,766,596	13.8

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

資産は、流動資産が18,203百万円（前連結会計年度比8.3%増）となりました。これは、主に「現金及び預金」が1,426百万円増加したことによるものです。固定資産は16,540百万円（同2.5%減）となりました。これは、主に「無形固定資産」が162百万円減少したことによるものです。その結果、総資産は34,744百万円（同2.9%増）となりました。

(ロ) 負債

負債は、流動負債が6,236百万円（同0.9%増）となりました。これは主に、「未払法人税等」が157百万円増加したことなどによるものです。固定負債は、2,775百万円（同4.2%減）となりました。これは主に、「退職給付に係る負債」が140百万円減少したことなどによるものです。その結果、負債合計は9,012百万円（同0.7%減）となりました。

(ハ) 純資産

純資産は、25,732百万円（同4.2%増）となりました。純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は24,512百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の69.4%から1.1ポイント増加し70.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、平成27年11月5日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社等の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更は、在外子会社等の重要性及び昨今の著しい為替変動に鑑み、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を平均化し、連結会計期間を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高が29,834千円、営業利益が2,293千円、経常利益が1,449千円それぞれ増加しております。なお、当遡及適用が1株当たり四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

前連結会計年度の期首の純資産に累計的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は44,708千円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高が同額増加しております。

(企業結合会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,022,181	6,448,958
受取手形及び売掛金	5,537,884	5,449,868
有価証券	300,000	-
商品及び製品	2,912,250	3,115,206
仕掛品	501,549	529,842
原材料及び貯蔵品	1,269,577	1,281,646
その他	1,291,196	1,414,257
貸倒引当金	△28,214	△35,843
流動資産合計	16,806,425	18,203,936
固定資産		
有形固定資産	7,406,171	7,468,161
無形固定資産	1,351,690	1,189,652
投資その他の資産		
投資有価証券	5,785,922	5,828,260
その他	2,426,649	2,065,567
貸倒引当金	△10,725	△10,725
投資その他の資産合計	8,201,846	7,883,102
固定資産合計	16,959,708	16,540,916
資産合計	33,766,133	34,744,852
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,033,399	2,928,057
短期借入金	301,251	202,549
未払法人税等	458,305	615,513
賞与引当金	502,150	561,264
その他の引当金	216,088	196,564
その他	1,667,887	1,732,309
流動負債合計	6,179,082	6,236,257
固定負債		
長期借入金	79,192	104,887
退職給付に係る負債	2,472,056	2,331,157
その他	346,274	339,872
固定負債合計	2,897,523	2,775,917
負債合計	9,076,605	9,012,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,380,380	1,380,380
利益剰余金	17,128,540	18,243,373
自己株式	△117,094	△117,216
株主資本合計	21,746,179	22,860,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	610,942	640,544
為替換算調整勘定	1,020,961	960,533
退職給付に係る調整累計額	71,224	50,101
その他の包括利益累計額合計	1,703,128	1,651,179

非支配株主持分	1,240,220	1,220,608
純資産合計	24,689,528	25,732,678
負債純資産合計	33,766,133	34,744,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	12,759,794	14,526,391
売上原価	6,961,278	8,015,034
売上総利益	5,798,516	6,511,357
販売費及び一般管理費	4,214,474	4,471,454
営業利益	1,584,041	2,039,902
営業外収益		
受取利息及び配当金	38,388	53,197
持分法による投資利益	60,049	78,323
為替差益	17,990	50,265
その他	125,149	99,866
営業外収益合計	241,578	281,653
営業外費用		
支払利息	4,766	7,209
その他	11,583	22,068
営業外費用合計	16,350	29,278
経常利益	1,809,270	2,292,277
特別利益		
固定資産売却益	1,480	2,820
投資有価証券売却益	-	19,374
移転補償金	43,909	-
特別利益合計	45,390	22,194
特別損失		
固定資産除売却損	1,609	2,806
解体撤去費用	14,612	24,417
特別損失合計	16,221	27,224
税金等調整前四半期純利益	1,838,439	2,287,247
法人税、住民税及び事業税	514,032	715,808
法人税等調整額	67,506	54,497
法人税等合計	581,539	770,305
四半期純利益	1,256,899	1,516,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	91,504	47,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,165,395	1,469,618

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,256,899	1,516,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163,917	29,601
為替換算調整勘定	△169,506	△133,540
退職給付に係る調整額	200,239	△21,123
持分法適用会社に対する持分相当額	△66,014	44,144
その他の包括利益合計	128,635	△80,917
四半期包括利益	1,385,535	1,436,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,309,742	1,417,669
非支配株主に係る四半期包括利益	75,792	18,355

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,838,439	2,287,247
減価償却費	469,376	513,472
のれん償却額	4,193	22,232
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,636	8,503
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,136	59,530
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,888	12,780
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,737	△93,858
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△52,126	△34,925
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,901	△32,243
受取利息及び受取配当金	△38,388	△53,197
支払利息	4,766	7,209
持分法による投資損益(△は益)	23,854	53,091
固定資産除売却損益(△は益)	238	△13
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	-	△19,374
売上債権の増減額(△は増加)	259,117	39,802
たな卸資産の増減額(△は増加)	△525,554	△320,006
仕入債務の増減額(△は減少)	71,350	△54,051
その他	75,534	△12,294
小計	2,071,753	2,383,903
利息及び配当金の受取額	39,249	60,498
利息の支払額	△4,766	△7,209
法人税等の支払額	△774,954	△565,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,331,281	1,871,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△173,501	△223,210
定期預金の払戻による収入	204,110	139,262
有形固定資産の取得による支出	△794,115	△433,027
有形固定資産の売却による収入	3,534	8,029
無形固定資産の取得による支出	△1,982	△27,651
投資有価証券の取得による支出	△433,363	△28,000
投資有価証券の売却による収入	-	45,180
投資有価証券の償還による収入	-	300,000
出資金の払込による支出	△53,660	-
その他	△60,063	△12,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,309,042	△232,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	85,095	△96,896
リース債務の返済による支出	△61,635	△69,576
長期借入れによる収入	97,900	73,396
長期借入金の返済による支出	-	△33,570
自己株式の取得による支出	△20	△122
配当金の支払額	△335,828	△354,536
非支配株主への配当金の支払額	△40,622	△46,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255,110	△527,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76,956	△28,189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△309,827	1,083,326
現金及び現金同等物の期首残高	4,743,881	4,589,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,434,054	5,672,354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,012,239	1,412,299	2,126,417	11,550,956	1,208,838	12,759,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,572,429	103,728	143,995	1,820,153	37,536	1,857,690
計	9,584,668	1,516,028	2,270,413	13,371,109	1,246,375	14,617,485
セグメント利益	1,527,626	125,760	240,857	1,894,244	66,660	1,960,905

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,894,244
「その他」の区分の利益	66,660
セグメント間取引消去	83,502
全社費用(注)	△460,366
四半期連結損益計算書の営業利益	1,584,041

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,983,194	1,646,932	2,328,849	12,958,976	1,567,414	14,526,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,670,454	111,347	181,438	1,963,240	138,475	2,101,715
計	10,653,648	1,758,280	2,510,287	14,922,217	1,705,889	16,628,106
セグメント利益	2,003,223	167,385	215,512	2,386,121	151,364	2,537,485

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,386,121
「その他」の区分の利益	151,364
セグメント間取引消去	45,059
全社費用(注)	△542,642
四半期連結損益計算書の営業利益	2,039,902

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。